

“約束”の進捗

昨年の統合報告書では、執行役がそれぞれキーワードを掲げ、中期経営計画「DRIVE NTN100」Finalの3年間で実現したい未来像を語りました。あれから1年、企業を取り巻く環境は大きく変化し、私たちの挑戦も新たな局面を迎えています。

“約束”の進捗として、執行役一人ひとりが掲げたキーワードに込めた思いを振り返りながら、2年目の進捗状況と、今後乗り越えるべき課題について語ります。変化の中でもぶれない軸を持ち、未来に向けて着実に歩みを進めるために、今何を考え、どう動いているのか——。それぞれの視点から語られるメッセージは、当社の現在地と未来への意志を映し出すものです。

WEBサイトの関連情報

NTNレポート2024



執行役 山本 正明

“約束”のキーワード 次世代に引継ぐもの：構造改革の完遂

1年目の取り組みや課題

負の遺産を次世代に先送りしないとの強い思いで構造改革に取り組み、自らが担当する欧州地区の構造改革は計画通りの進捗。中国地区も計画通り進捗しており、2年目以降の課題は日本と米州の構造改革。

2年目の注力ポイント

執行役が一丸となり日本と米州の構造改革を進める。構造改革を支えるキャッシュを生み出すため、全社で在庫削減を進め、営業キャッシュ・フローを創出する。



執行役 市川 博幸

“約束”のキーワード 仕事の質向上で目標達成

1年目の取り組みや課題

品質担当として中期経営計画の設定目標の中間地としては、線上的にのっていると評価するが、本質的な変革までもう一歩踏み込みが必要。

従来のやり方からの脱却を意識しさらなる施策に取り組む。

2年目の注力ポイント

会社の本質的な品質改革に取り組み、人作業に依存しないものづくりを目指す。現場の現状把握をリアルタイムに近い状態で監視し、変化点管理による安定した品質水準の維持に取り組む。



執行役 皆見 章行

“約束”のキーワード 『行動力』 先ずやってみる

1年目の取り組みや課題

調達改革は、中計3年間の原低積上げを終え、さらに目線を引き上げ高い目標にチャレンジ。物流改革は、簡易診断により国内物流課題を見える化し、今後、改革活動に着手。生産改革は、海外地区の活動を本格的にスタートさせる。

2年目の注力ポイント

すべての活動・行動は、「スピード」が重要。少しでも早く、少しでも多く、成果を前倒しできるよう、全社一丸となって今年も「行動力」で改革の完遂を目指す。



執行役 川端 恭弘

“約束”のキーワード 挑戦と自律

1年目の取り組みや課題

「豊かな人づくり」の実現を目指して、“人材獲得と育成”と“組織風土醸成”の両面から基幹職人事制度の見直しに伴う諸施策の実施、海外勤務者の処遇制度の見直し、多様な人材を採用できる仕組みの強化などに取り組む。

2年目の注力ポイント

引き続き“次世代を担う自律型人材の育成”と“働き方の変化に応じた働く仕組みの再構築”に向けて、従業員の声を聴きながら具体的な施策を進める。



執行役 菊田 剛

“約束”のキーワード 「二刀流」

新任執行役としての意気込み

経済的価値と環境・社会的価値をともに高め、ステークホルダーから信頼・必要とされる企業となる「2035年度の姿」の実現に向け、財務面、ESG経営の両面から「二刀流」で挑戦。

今年度の注力ポイント

現在推進中の構造改革を加速させ、経営基盤・財務体質の強化を進めるとともに、多様な従業員がイキイキと働くことができる組織風土の醸成とガバナンスの高度化に取り組む。

新任
執行役

“約束”の進捗



執行役 木下 俊平

“約束”のキーワード 深謀遠慮 一致団結

1年目の取り組みや課題

在庫削減などでキャッシュ・フローを創出しつつ、構造改革を前倒し。インフレコストの売価転嫁や調達改革、カーボンニュートラルなど、中期計画の目標を達成した施策も多い。長期目標に向けた努力が着実に実を結び始める。

2年目の注力ポイント

日本、米国、欧州の製造拠点における構造改革や、国内外での原価低減、アフターマーケット向け販売拡大による成果を着実に利益に結びつけるとともに、在庫の中期目標達成に向けて地道な取り組みや施策を積み上げる。



執行役 孝橋 宏二

“約束”のキーワード コミュニケーションの活性化

1年目の取り組みや課題

老朽化していた基幹システムの再構築が完了し、新たなデジタル技術を活用したシステムへの刷新が完了。広報やIR活動は、新たに設立した「コーポレート・コミュニケーション部」として積極的な情報発信を開始。

2年目の注力ポイント

新システムに蓄積されたデータとAIを組み合わせることで、変革に向けた意思決定や行動を加速。また社内外のステークホルダーに対する情報発信だけでなく、双方向のコミュニケーションを強化。



執行役 楯岡 生也

“約束”のキーワード 組織一丸となって！

1年目の取り組みや課題

買う、造る、売る領域で構造改革（調達、生産、設計改革）を進め稼働力の強化、棚卸資産の削減を組織一丸となり進める。一定の改善・改革はあるが、今後海外地区の加速化が課題。

2年目の注力ポイント

構造改革、特に生産再編の前倒しを進める。自動車アフターマーケットをグローバルで拡大する戦略立案と実行、Finalに向けた棚卸資産の削減計画の立案、次期中期計画を見据えた商戦への対応に注力。



執行役 谷尾 雅之

“約束”のキーワード **パラダイムシフトで果敢に行動**

1年目の取り組みや課題

組織ミッションを再定義し、収益創出に向けた戦略を具体化。供給体制最適化スキームと連動させ、長期目標の達成に向けて前進。地域・部門間の連携と仕組化を次なる課題と捉え、全社的な取り組みで解決を図る。

2年目の注力ポイント

構造改革の中核を担う生産再編の遅延なき実行に注力。市場性と成長性を見極め、全社的な視点で本質的な課題に向き合い、スピードと確実性を持って変革を推進。持続的な競争力の確保と収益基盤の再構築を目指す。



執行役 中野 賀泰

“約束”のキーワード **新商品、新事業の実現率向上**

1年目の取り組みや課題

新事業の開拓は、特に次世代モビリティ・モジュール、ロボット周辺モジュールおよび再生可能エネルギーの分野で、売上高や開発案件の入手が増加。サービス・ソリューションは新商品を開発し、今後テストマーケティングを開始。

2年目の注力ポイント

モビリティ・モジュール分野のポールねじとロボット周辺モジュール分野のi-WRISTの開発案件を確実に受注につなげ、事業の礎を築くとともに、新たな成長分野の創出活動を推進する。



執行役 柳田 圭治

“約束”のキーワード **思考は準備、実行は勝負。先手必勝！すぐやる！もっとやる！**

新任
執行役

新任執行役としての意気込み

今までと同じでは駄目、挑戦から逃げては駄目、と常に自分に言い聞かせ、失敗を恐れずPDCAを確実に回して成果につなげる。スピード、挑戦、協力をモットーに着実に課題を解決。

今年度の注力ポイント

無駄半減、徹底的なコストダウン、供給リードタイム短縮、売価適正化、新商品の市場展開について、マーケット志向を強めて確実に推進し、中計目標を射程に捉える。